

# デジタル学習基盤を活かした授業を考える

2025・7・3

第1回学習会

学びに向かう力  
人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか



何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

# サポートマガジン『みるみる』

<https://mext-curriculum-gov.note.jp/m/m3b4a6bc792d6>



主体的・対話的で  
深い学びの実現

授業改善



全ての子供に  
これからの社会を生きる  
資質・能力を育む

多様な子供を誰一人  
取り残さない視点

**個別最適な学びと協働的な学び  
一体的充実**



## サポートマガジン『みるみる』

16本

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図る授業づくりのための基本的な考え方や具体的な取組について、【基本編】【実践編】あわせて15本の記事で紹介。

フォローする

運営しているクリエイター

文部科学省 | 授業づくりNote

記事 月別 ハッシュタグ

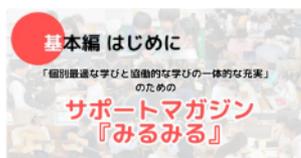


『みるみる』全編ファイル (PDFデータ掲載)

【基本編】【実践編】の全ての記事をまとめたファイルです。印刷したい場合はこちらをご活用ください。

文部科学省 | 授業づくり...  
23時間前

11



【はじめに】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のた...

令和3年1月の中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能...

文部科学省 | 授業づくり...  
23時間前

7



【基本編①】これからの時代に求められる子供たちの資質・能力

#01 急速に変化し続ける社会 「社会の変化が早く、また複雑で予測困難な社会となっている」と言わ...

文部科学省 | 授業づくり...  
23時間前

5

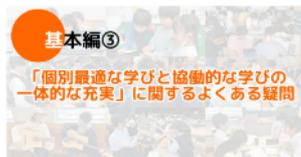


【基本編②】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の意義

#01 子供によって効果の高い学び方は違う 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通...

文部科学省 | 授業づくり...  
23時間前

3



【基本編③】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に関...

#01 「個別最適な学び」はこれまでにない新しいことを目指しているのか? 「個別最適な学び」という...

文部科学省 | 授業づくり...  
23時間前

3



【基本編④】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を...

#01 1コマ1コマの授業づくりから単元をベースとした授業づくりへ 「主体的・対話的で深い学び」を通...

文部科学省 | 授業づくり...  
23時間前

3



【実践編①】実践編の内容と読み方・使い方

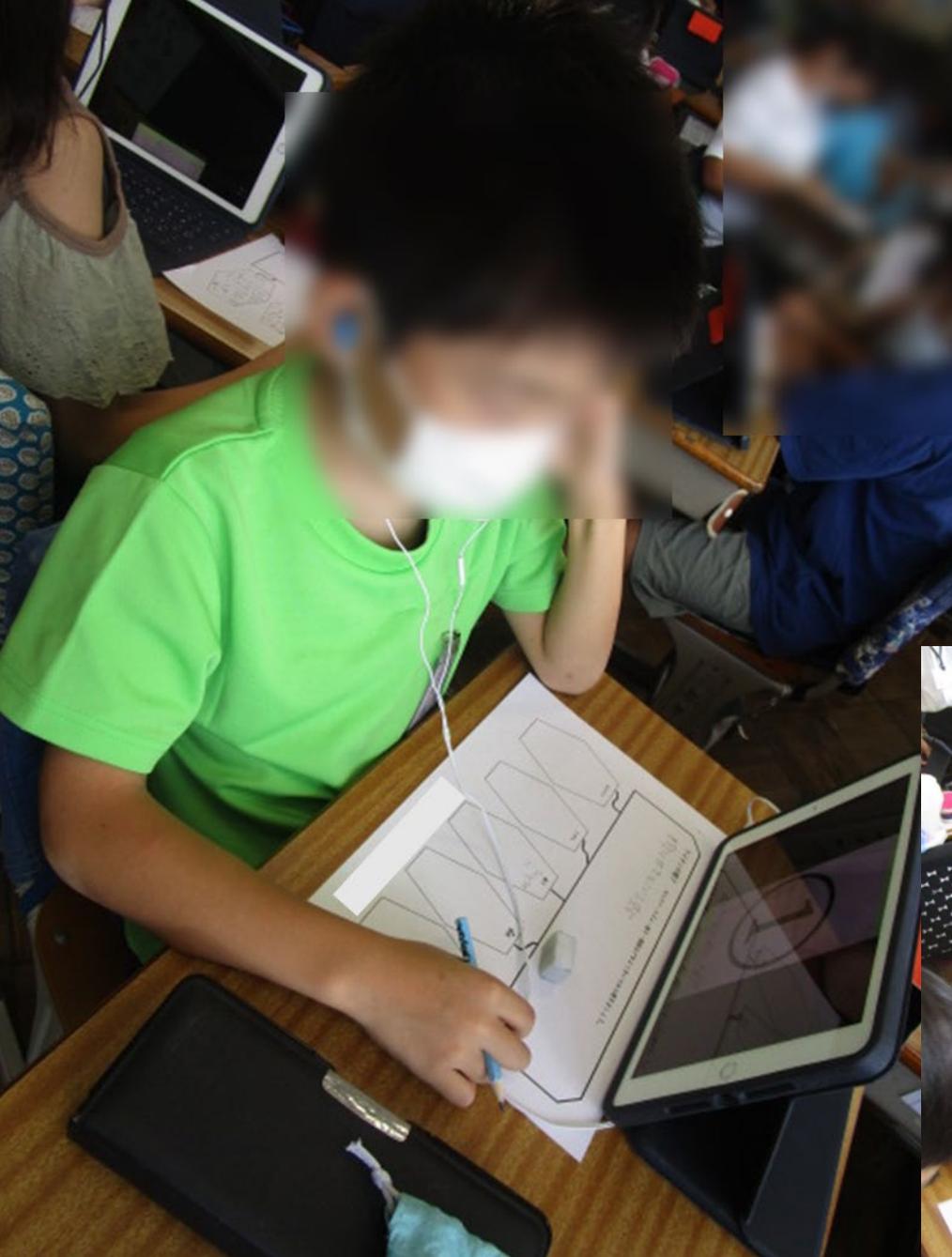
サポートマガジン『みるみる』

<https://mext-curriculum-gov.note.jp/m/m3b4a6bc792d6>

### # 3 「主体的・対話的で深い学び」と「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」の関係～「全ての子供」に資質・能力の育成を図る～

近年、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」と令和答申が示す「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の関係性がどうなっているのか、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が「主体的・対話的で深い学び」を上書きしたのかという疑問も聞かれます。この点については、あくまで「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じて資質・能力の育成を図っていく、ということが多様な特性を有する全ての子供において実現するということが出発点としてあり、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」はそのための具体的な改善の視点であることに留意していただきたいと思います。例えば、**子供一人一人が個別に学ぶ場面や、協働する場面が準備されていたとしても、子供たちの「主体的・対話的で深い学び」につながっていなければ、本末転倒になってしまいます。**

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が盛んに授業研究のテーマとなっていくことは歓迎されることですが、それ自体が目的化することがないよう、「主体的・対話的で深い学び」を通じた資質・能力の育成という出発点に立ち戻って考えることが大切です。





「浅い」 → 「深い」

「深い学び」の子どもの姿

A wide-angle photograph of a lush green rice paddy field. The rice plants are densely packed and appear to be in the middle of their growth cycle, with long, slender leaves and developing panicles. The field extends to the horizon under a bright, clear sky. The overall color palette is dominated by various shades of green, from vibrant lime to deep forest green.

農薬の是非を問う

「僕は農薬は使わない方がよいと思います。なぜなら、農薬は虫を殺してしまう力があるからです。きっと、人間にも害があるはずです。」

「私もそう思います。農薬は害虫を駆除するだけではなく、雑草も枯らしてしまいます。そんな農薬を使うのは心配です。」

「でも、雑草をとらなければ稲は大きくなりません。草取りを体験しましたが、とても大変でした。」

「それに、稲が病気にかかることもあります。農薬は、稲の病気を防ぐ働きもあります。」

「私のおじいちゃんは、米作りをしています。作業が大変だといっていました。全ての田んぼの草を取るのは無理だと思います。」

草が枯れる

虫を殺す

種類

人体に害がある

農薬

成分

使う時期

栄養になる

使い方

名前

草取り(草を枯らす)

虫を殺す

種類

人体に害がある

農薬

成分

病気を防ぐ(栄養になる)

使う時期

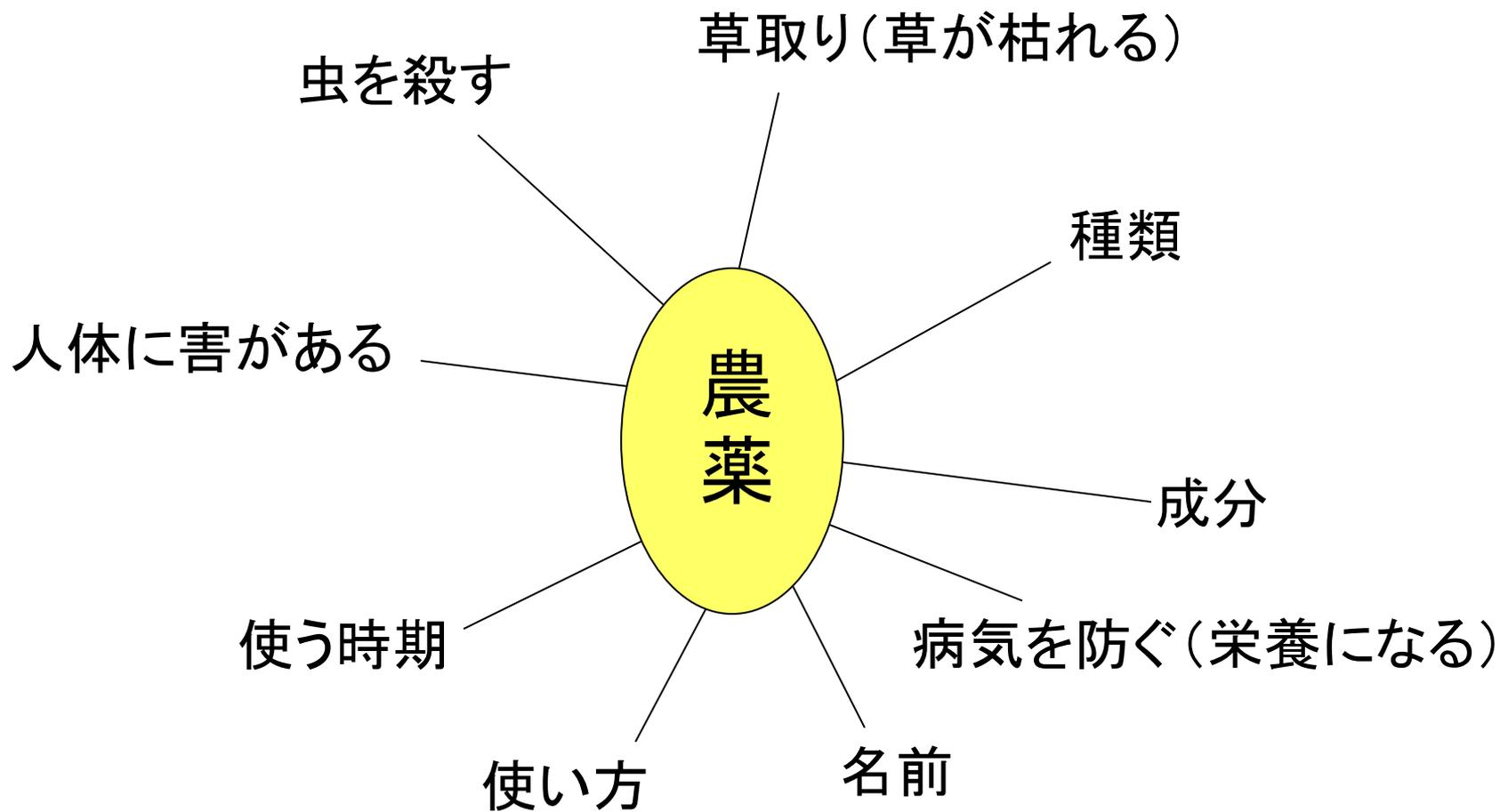
使い方

名前

「今日の話し合いをするまで、私は農薬は絶対に使ってはいけないと思っていました。しかし、みんなの意見を聞いて農薬も必要かなと思うようになりました。稲の病気を抑えたり、草取りの仕事を少なくすることも大切ではないかと考えたからです。私も草取りをしましたが大変でした。

でも、虫のいのちをうばってしまう農薬を使うのも心配です。話し合いをしてみて、どうしてよいのか分からなくなってきました。」

# 農薬の是非について討論する





あなたは一人じゃない、あなたの後には、未来をたくした人がいる

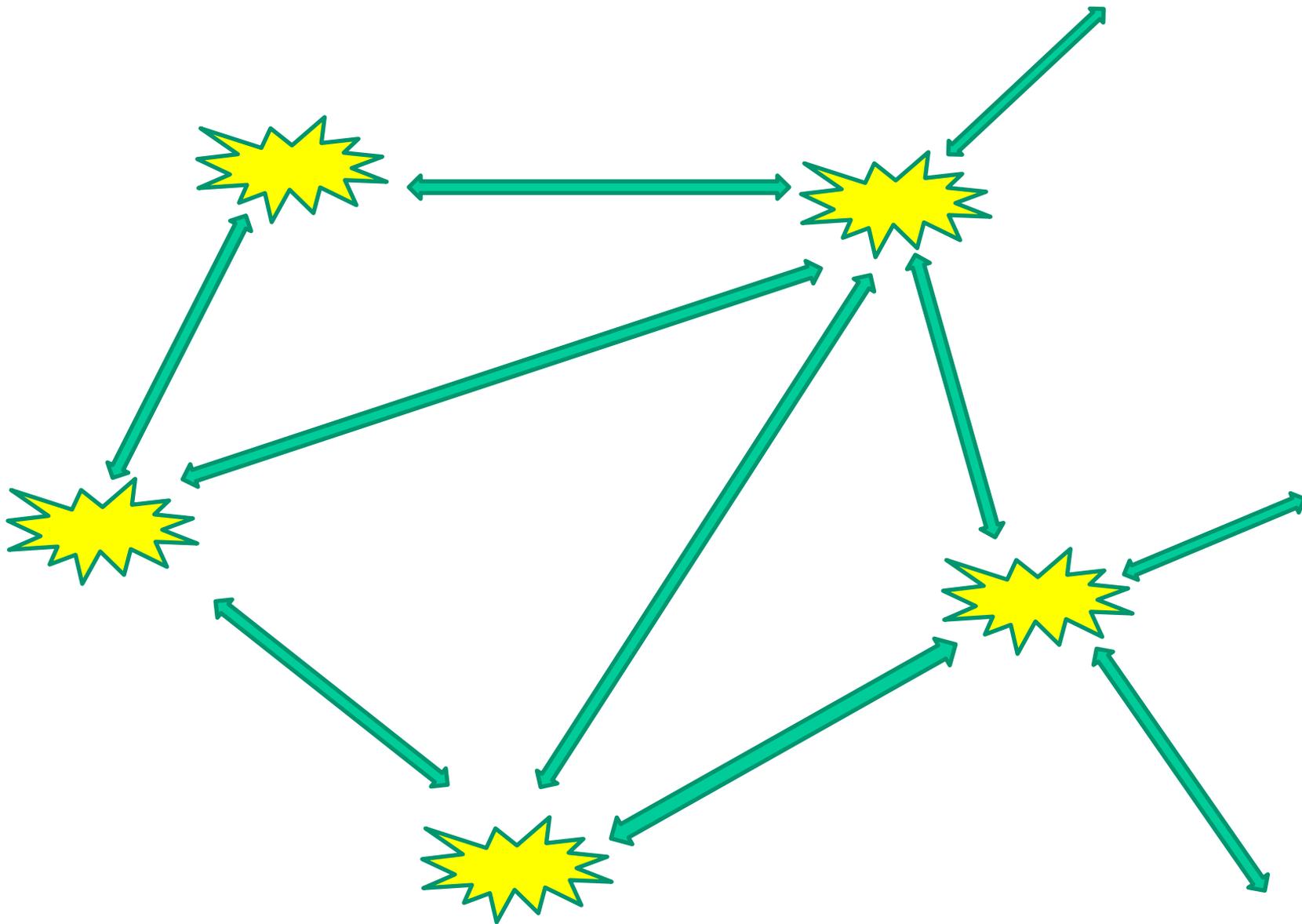
戦争が二度と起きてはほしくないって感じがするな。

母さんに守られてい無傷だった。お母さんが子どもに未来を託したんだと思う。

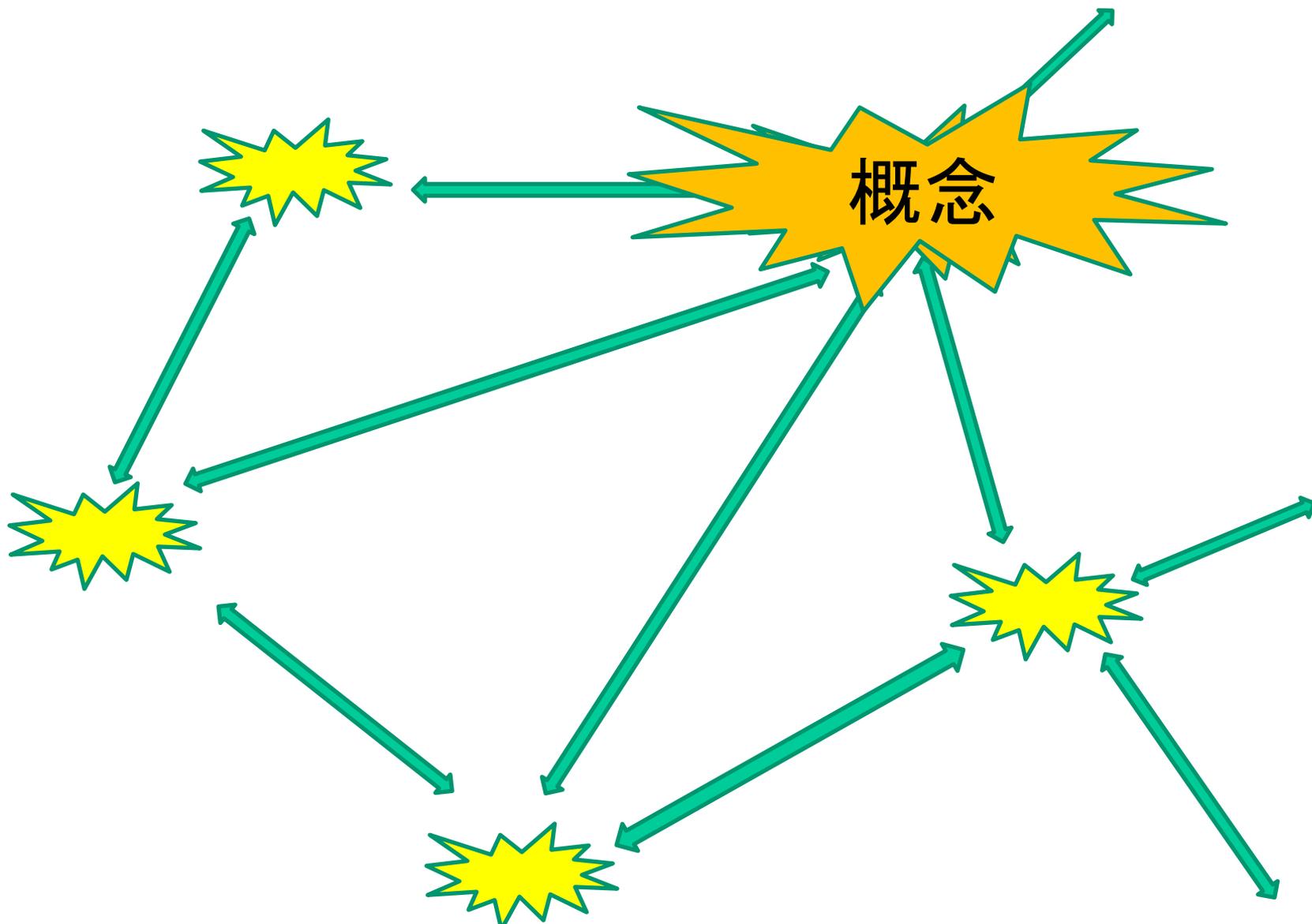
くじけても助けてくれる明日への言葉って感じがするよ。

私は、亡くなった人の思いがあると思う。自分のぶんまで生きてほしいと願っていると思う。

原爆直後に亡くなった人もいる。放射能で亡くなった人もいる。戦争が二度と起きないように、そうした多くの人の思いが、明日の未来に向けて僕たちに託されているんじゃないかな。



知のネットワーク化(精緻化)



# 深い学び

「知識・技能をつなぐ（関連付ける）」

支え釣り込み足は、かける足の位置が大事だと思うよ。

それよりも軸足が大事じゃないかな。体が後ろに逃げたら、重心が下がって力が入らない。

サッカーだって、重心の軸がしっかりしていないと強いキックが蹴られないんだよ。

だから、重心を保つために軸足は、少し内側に向けておく必要があるはず。だって、野球の盗塁だって、どっちにも

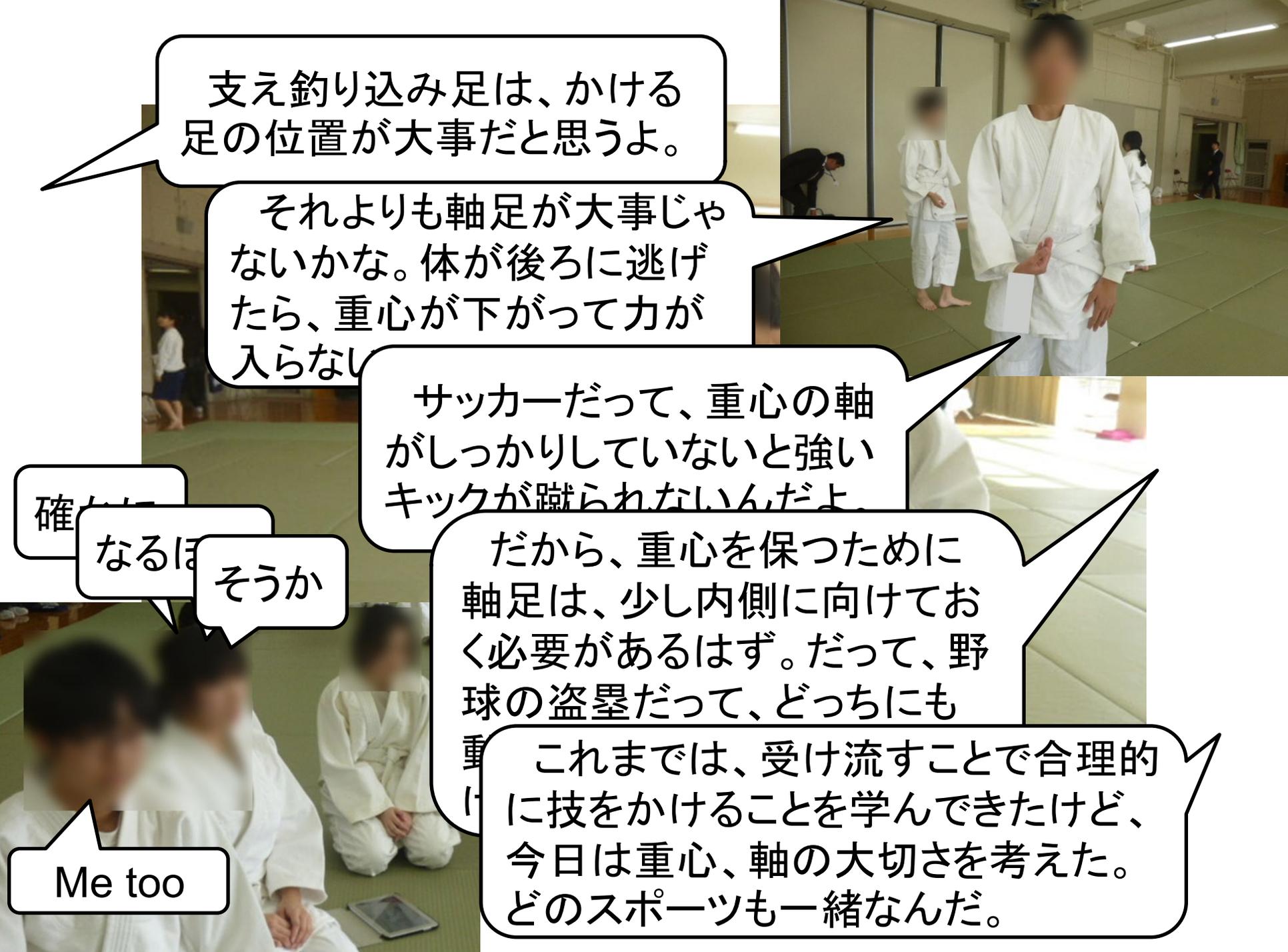
重  
け  
これまで、受け流すことで合理的に技をかけることを学んできたけど、今日は重心、軸の大切さを考えた。どのスポーツも一緒なんだ。

確かに

なるほど

そうか

Me too



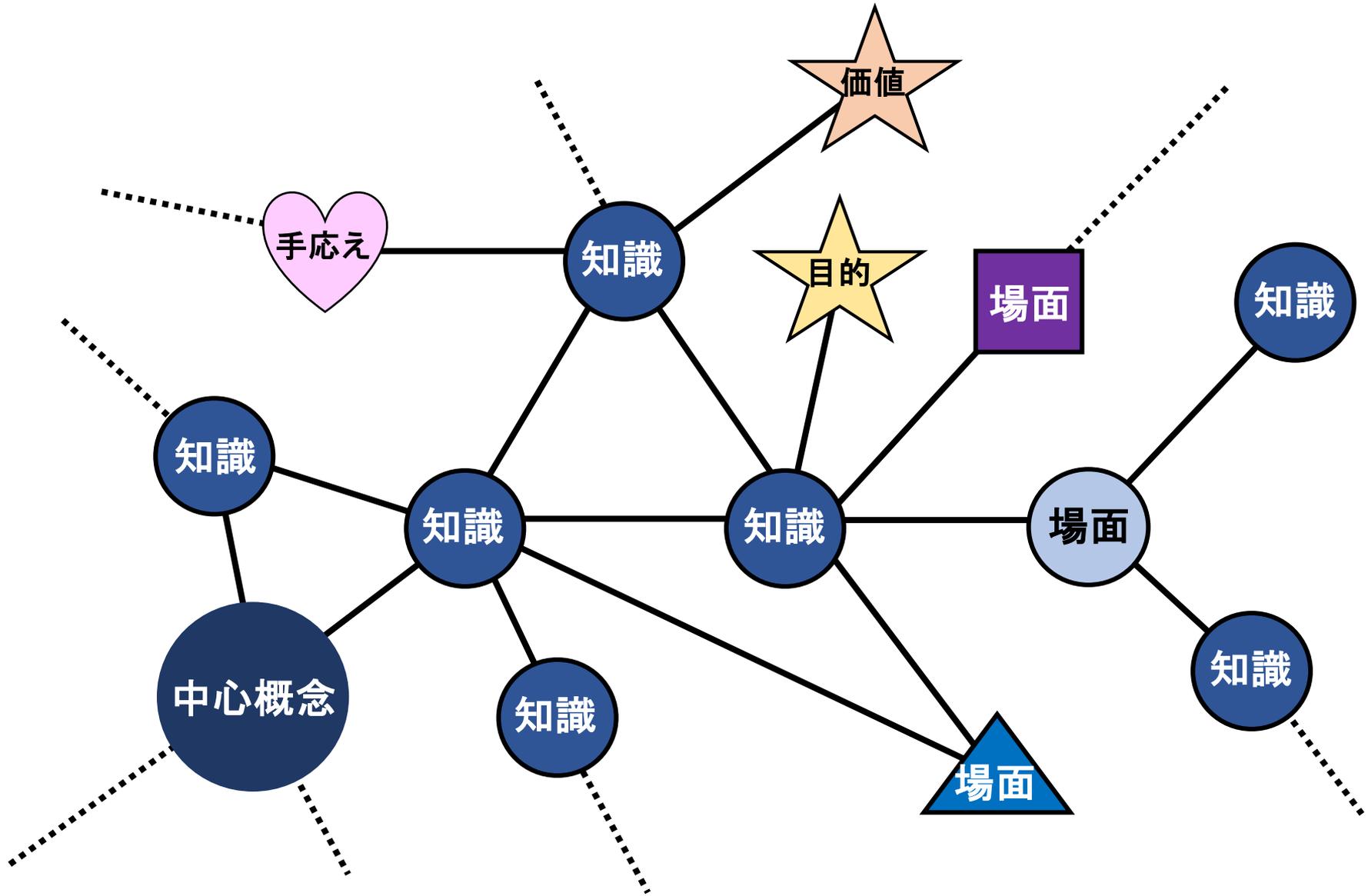
# 深い学び

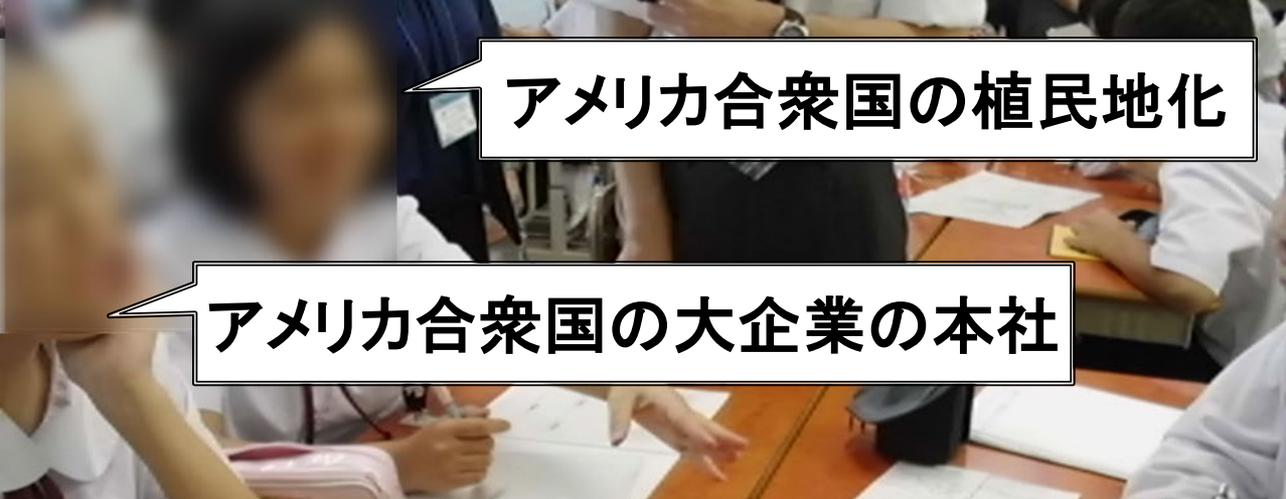
「知識・技能をつなぐ（関連付ける）」



「活用・発揮」

# 複雑に絡み合う「知識の構造」

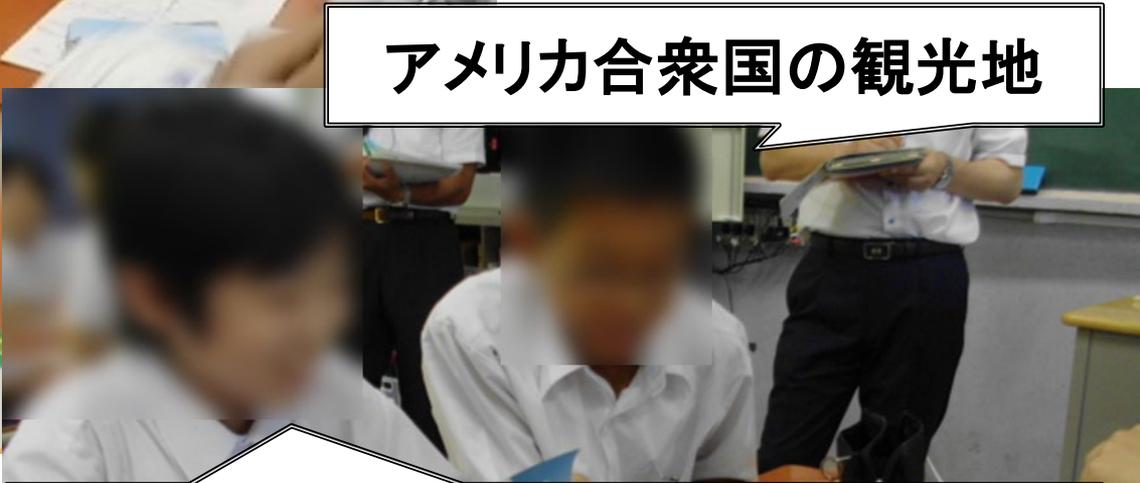




アメリカ合衆国の植民地化



アメリカ合衆国の大企業の本社



アメリカ合衆国の観光地



アメリカ合衆国の国立公園・自然遺跡





しつこいなあ

あれも変わった？

大きくは変わりません。少し理由が確かになった。観光地も自然公園も植民地も直接は関係なか

全く関係ないの？

観光地が多いのは、人口と関係があるようだから、本社が東海岸に集中しているとは関係

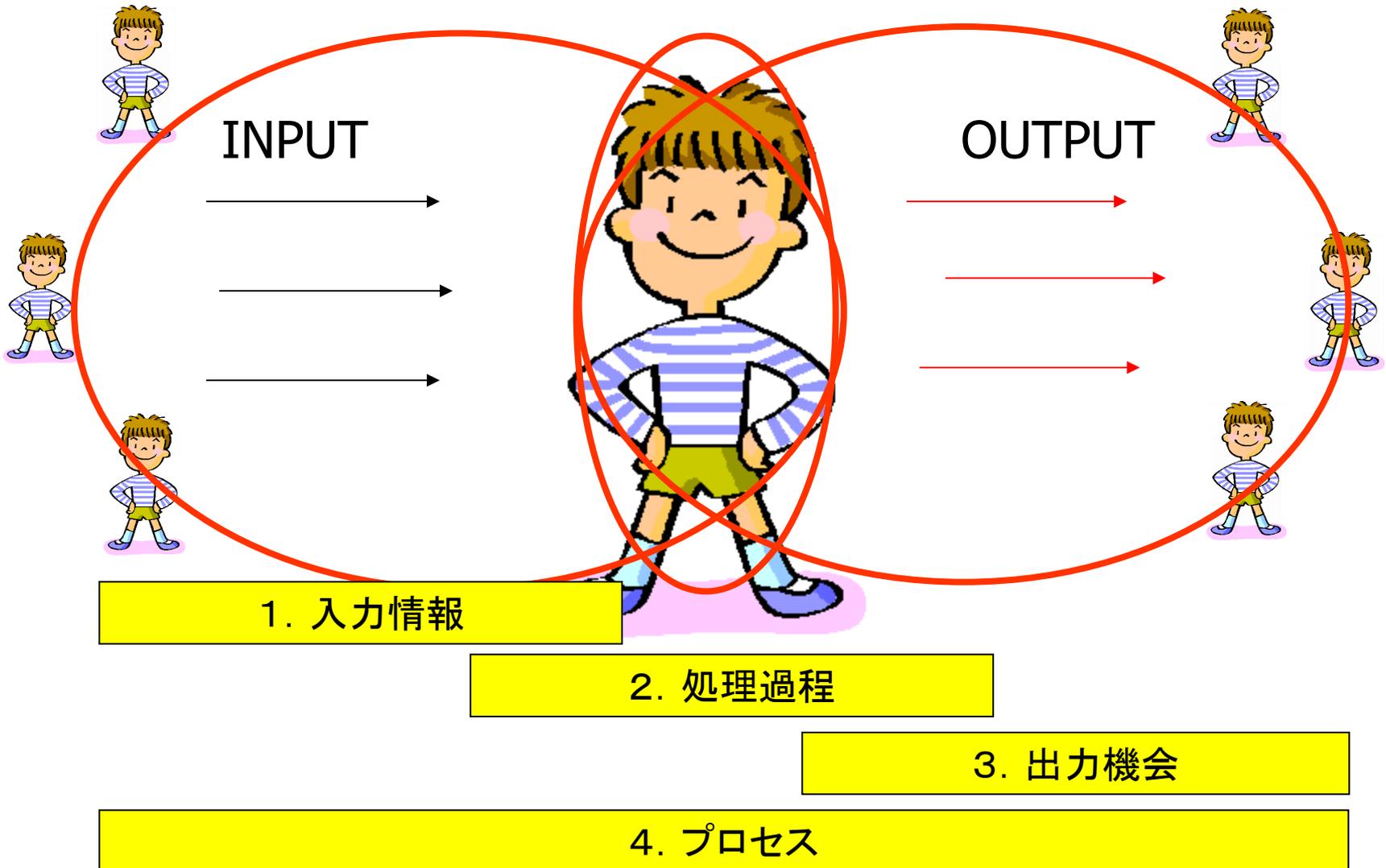
それだけ？植民地化は？

ヨーロッパによる植民地化は、東海岸から進んだから、最初は何糧を確保するために農業

## 教師の指導性の発揮

サンフランシスコやロサンゼルスなどは地中海性気候だから、農業が発展して同じようになったかもしれないけど、内陸は乾燥地帯だから同じようにはならないと思う。きっと東側には五大湖があって、水資源が確保できたはずだし。だから、西側に自然の豊かな国立公園も残っているのかな。

# デジタル学習基盤における「深い学び」の可能性(例)



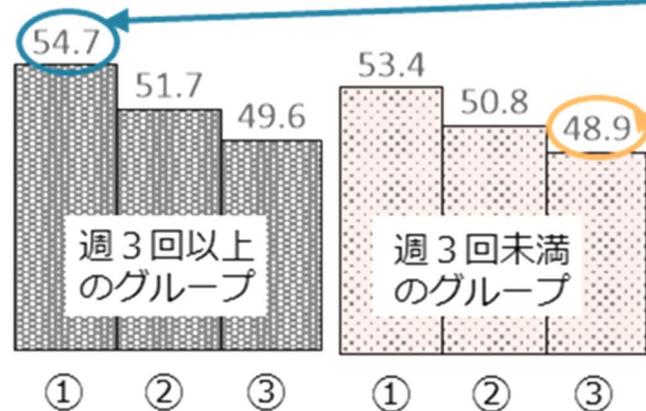
## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果のポイント（授業改善関係）

- 課題解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、考えをまとめ、発表・表現する場面でICTを活用している。その両方に取り組んだ学校グループの児童生徒は、それ以外のグループよりも各教科の正答率が高い。

### 課題解決に向けて話し合い、まとめ、表現する学習活動

- ① 当てはまる      ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない（又は）当てはまらない

#### 中学校数学



発表場面でのICT活用頻度が週3回以上で、課題解決の学習活動の質問に「当てはまる」と回答した学校の生徒の平均正答率は**54.7%**。

発表場面でのICT活用頻度が週3回未満で、課題解決の学習活動の質問に「どちらかといえば、当てはまらない」又は「当てはまらない」と回答した学校の生徒の平均正答率は**48.9%**。